コバナアザミの北海道分布・予報

千歳市　**五十嵐　博**

はじめに

2007 年度から夏になるとコバナアザミの開花を追いかけている。2009 年も後志、空知、石狩支庁など各地で確認できたが、まだ全道を把握するに至っていない。筆者の全ての確認記録は標本に基づいていない。アザミ属はトゲがあり、標本採集は極力避けたい種である。まして、珍しい種や興味のある種は採集するものの、チシマアザミの仲間のような広域分布種は避けて通りたい種であった。しかし、過去の記録の中のチシマアザミには多くのコバナアザミが含まれていることに気がついたのは数年前である。3 年間の確認記録からコバナアザミの北海道分布を報告するが、未完成であるため今回は予報とする。

コバナアザミ

梅沢 (2007) では、「高さ 2.5m ほどにもなり、茎は上部でよく分枝する。頭花は小さく径 3cm ほどで総苞片は 9 ～ 10 列。ほとんど開出せず腺体（白い線状の部分）が目立つ。／小花薊／開花：7 ／下～ 9 月。分布：北（道央以北）。撮影：8.14、空知地方幌加内町／（チシマアザミとは）別種とする見解もある。」とチシマアザミとの比較が分かりやすい頭花の写真が掲載されている。別種であるとの見解はかなり以前から認識していたチシマアザミの開花期は 6 ～ 8 月と記載されているので、当初はコバナアザミの方が開花するのが遅いのかと思われたが、後志地方などの調査ではコバナアザミは 6 月中旬から開花していた。また、道北などでは 9 月ではほとんど開花が終了しており、 7 ／下～ 9 月の記載は各地の調査の結果では 6 ／中～ 8 月が現実的のようである。

他の図鑑類では、原 (1983) に掲載されており、1982.7.31. 留萌幌延町が撮影記録である。

コバナアザミ　2008.07.05. 苫小牧市

分布

日野間 (2009) では分類群を統合しているため、図 1 に示すとおり、チシマアザミは全道に広く分布している。しかし、道南は図 2 に示すとおり、マルバヒレアザミの分布域であり、チシマアザミは分布しない。伊藤・日野間 (1987) では、チシマアザミにはビロードチシマアザミ *f. velutinum*、